

Table with 5 columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 所属部, 所属課, 所属G, 課長名, 担当者名, 電話番号, 予算科目, 会計科目, 款, 項, 目, 中事業. Includes details for 'スクールバス運行事業'.

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間, ②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述), ③開始したきっかけ. Includes details on the start of the school bus service.

(2) トータルコスト

Table showing costs and personnel. Columns include: ①事業費の内訳(概要), ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等), 事業費, 人件費, トータルコスト(A)+(B). Includes a detailed breakdown of expenses and personnel costs.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 2 main columns: 手段 (Means), 指標 (Indicators). Includes '23年度実績' and '24年度計画' for the school bus service, with corresponding activity indicators.

Table with 2 main columns: 目的 (Objectives), 指標 (Indicators). Includes '② 対象(誰、何を対象にしているのか)', '③ 意図(対象がどのような状態になるのか)', and '④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)' with their respective indicators.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか, ② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯, ③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか.

事務事業名	スクールバス運行事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ スクールバスの運行は、児童生徒の登下校の利便性を向上することになり、教育環境の充実につながる。「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、未来を切り拓くひとの育成」には、まず学校へ通学するための整備が必要で、この事業はその手段となる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 小中学校は義務教育であり、市の責任において遠距離通学者等の通学手段としてスクールバスを運行することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・通学用スクールバス利用者の許可要件の整備を図る必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・運行体制の見直しにより、臨時便での利用を増やすことなど、校外活動の充実を図る事が出来る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止、休止した場合には、遠距離通学者等の通学手段が確保できなくなる。保護者への負担増につながる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) 市民バス運行事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 登下校、臨時便の運行については、公共交通の再編計画に合わせ検討が必要である。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 便数等、今後増える要素はあっても減る要素はないため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か？成果を下げずに正職員以外や委託でできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 臨時便に関しては、件数も多く、調整・手配等の作業量に時間を要する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 通学用スクールバス利用者の許可要件が、公平性の点で今後調整、改善の必要がある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	登下校のためのスクールバス運行に関しては、学校及び運行業者と連携を図り、良好な運行ができた。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下	×		×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下	×		×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
許可要件について、今後は距離を基準にするなど均衡を図る必要があるが、これまで旧町村の実状に応じて許可した経過があり、変更にあたっては慎重に対応する必要がある。																							